

人の「動き」をアドバイスする方位学とは？

「経営者の方は会社をよくしたいという思いで、方位学をいつ、どう動くべきかの参考にしています」

学生時代、心理学者・多湖輝氏の著作に傾倒、「人の心」の奥深さについて思索した。そして今、たどり着いたのが方位学。東から太陽が昇り、西に沈むが、方位には、それぞれの意味があるというのが方位学の基本だという。人生の様々な場面で、自分の最適な時期、方角はどこかをアドバイスすることに生き甲斐を感じると話す。

方位学鑑定家

柴山 壽子

Shibayama Hisako

夫の病気をきっかけに 方位学の道へ

—— 柴山さんが方位学に出会ったきっかけから聞かせて下さい。

柴山 元々私は、本当に普通の主婦でした。ただ、16歳頃から占いが好きでした。「人の心が読めたら面白いだろうな」と、心理学者の多湖輝さんの読心術の本を読んだりしていました。

そして、普通の幸せな結婚をして、2人の子供を授かりました。主人は建設業を営む優しい

人でしたが、残念なことに10万人に1人という大きな病気にかかり、そのときの輸血が原因で肝臓が悪くなっていくのです。

主人の容態が悪くなる中で、「目に見えない世界」にすがり始めました。当たると言われる占い、助けてくれるという宗教、効くと言われる漢方薬など、いろいろなことを試しました。ただ、その時に方位については知っていたものの「方位なんて……」と軽んじていました。

—— ご主人の病気はどうなったんですか？

柴山 主人は37歳の若さで亡くなってしまいました。もう絶対、占いは信じまいと思った矢先に、私に胃がんの疑いや、レントゲンで見たところ、卵巣に腫瘍の疑いが出たんです。ですが、不思議なことにはしばらくして腫瘍はCTやMRIで撮っても見当たらなくなってしまいました。

人間は死に向き合うと神頼みをしてしまうものです。私もガンの疑いが出てから神社に通っていましたので、腫瘍が消えたことのお礼に行きました。する

と宮司さんが「わかっていました」とおっしゃるのです。そして「柴山さん、あなたは人を助ける運命にあるから、それを仕事にしないさい」と言われました。

主人が亡くなってからは、苦勞しながら茨城県土浦市でエステサロンを開業していました。宮司さんの言葉を受けて、そこで方位学の無料鑑定を始めることにしたのですが、最初はエステのお客様へのサービスだったものが、口コミで評判が広がって行列ができるようになってしまい、部屋を借りることにしま



しばやま・ひさこ

茨城県土浦市生まれ。株式会社ジェイアイシー代表取締役。16歳から占いに興味を持ち、様々な勉強を始める。経営相談を中心に、家庭運、健康運、家相まで幅広い相談に応じている他、講演活動も行っている。現在、東京・茨城に鑑定所を持つ。

した。これがプロとして鑑定のお仕事をするきっかけです。

—— 柴山さんが現在仕事にしている方位学を説明すると、どういうものになりますか。

柴山 一言で言えば「動より吉凶生ず」です。引越越し、会社の移転、投資などは動きです。また動くことによって人との出会いがあります。その動きで不幸が分かれてしまいます。

皆さんご存知の三国志に登場する「諸葛亮孔明」、彼は方位学に長けており、攻める方向や時期をみていたとされています。

もう一つは自然の摂理です。例えば太陽は東から昇って、お

昼時に南の真上に来て、西に傾いて没するという1日の流れがあります。

角の作用があります。太陽が昇る方向でもあり、これから活動する位置でもあるので「やる気」や「発展」という意味があります。

す。同様に南には南の意味が、西には西の意味があるのです。どんなに科学が進んでも太陽は東から昇り、西に沈む。こうした自然の摂理は今も昔も変わらないのです。

その法則を研究し体系化されたのが方位学です。

古代の人々は、時計もカレンダーもない時に、いつ種を蒔き、収穫したらいいかを見極めてい

たのです。間違えたら1年間食べられないかもしれないから必死です。これは非科学的でも何でもなく、自然の摂理との対話だと思っんです。

—— 相談に来た人にはどのように対応していますか。

柴山 個人個人、悩みは違いますが、必ず原因があつて結果があります。今の苦しみの原因は過去にあるのです。私はその原因を究明します。その上で、方位学に基づいたアドバイスをするので。

また、家を建てるにあつての相談があつた時には、私がお家相を見るだけでなく、設計士がついて、具体的な設計についてもご相談に応じています。それ以外にも、相続の問題が出た時には、相続運を改善できる方位をアドバイスしながら、弁護士さんの知恵もお借りします。私の方位学と、それぞれの分野の専門家との連携があるのです。

—— 様々な分野の経営者も相談に来られるそうですが。

柴山 ええ、経営者の方の特

徴は、即行動することです。なぜなら経営者の方は「仕事を成功させたい」という強くて明確な目標があるからです。私たち一般人は、もっとお金が欲しい、異性にモテたいなど「俗」な悩みが多く、なかなか動けないことが多いのですが、経営者の方は「会社をよくしたい」という強い思いがあります。

プラス思考で、方位学も判断材料の一つとして前向きに活用されていますから、実に早く「運」を捕まえられるます。

—— 投資や会社の移転など、動く時に、どうせなら悪い可能性を全て排除して動くということですか。

柴山 そうです。方位学を前向きに活用しており、「今は悪い時期で、その方向に行かない方がいいですよ」と申し上げると、良い時期まで待たれます。「バイオリズム」というものがありますが、誰しも良い時、悪い時があります。その底の時に動くのと、良い時に動くのとでは結果が全く違ってくるのです。